

2012年1月5日

PDF 帳票開発ツール「Field Reports 1.4」をリリース ～ フォント機能を強化し、約6万字収録のIPA明朝フォントが利用可能に～

ソフトウェア開発の合同会社フィールドワークス（所在地：愛知県春日井市、代表：梶田健史）は、LL言語を用いた中小規模システム開発向けに最適化したPDF帳票開発ツール「Field Reports 1.4」を1月30日より販売開始いたします（β版は1月5日リリース）。

Field Reports 1.4ではフォント機能を強化し、JIS2004対応はもとより約6万字の人名漢字などを収録した「IPA明朝フォント」にもフル対応しました。これにより、外字フォントを別途用意することなく、異体字の多い人名・地名を扱う帳票を開発することも可能になりました。

■ 「Field Reports」とは

Python, Ruby, Perl, PHP等のLL言語もしくはJVM, .NET上のプログラミング言語から利用できるPDF帳票生成コンポーネントです。

あらかじめExcel, Acrobat等のオフィスソフトで作成しておいたPDFテンプレートに対し、プログラムからフィールドに値を設定することで、複数ページにわたる集計表などを簡単に作成することができます。

■ 「Field Reports 1.4」の新機能

(1) フォント機能の強化

- ・ フォント埋め込み（TrueType, OpenTypeフォント）
- ・ Unicode BMP外文字への対応（サロゲートペア, 異体字セレクタ）
- ・ グリフ直接指定機能（グリフ名参照文字, CID/GID参照文字）
- ・ 縦組テキスト

Unicode BMP外文字への対応により、Unicode 3.1以降に追加されたCJK統合漢字拡張B～D（JIS2004で追加された文字を含む）を活用した帳票を作成することが可能になりました。

さらにグリフ直接指定機能を用いれば、フォントに内蔵されている字形を直接呼び出すことができます。例えばIPA明朝フォント（<http://ossipedia.ipa.go.jp/ipamjfont/>）では、現在7,160文字がUnicode未割り当て状態となっていますが、グリフ名参照文字を利用することで収録している60,718字をすべて利用できます。

(2) 表現力の向上

- ・ フィールド表示属性の追加（回転角度, 透明度, ブレンドモード）
- ・ 対応画像形式の追加（αチャンネル付きPNG/BMP, PDF画像）

これらの対応により、例えばテキストと印影の重ね合わせ表示, 半透明の「透かし」などの表現が可能になります。広告・チラシなどのデザイン性を重視した用途においてもご利用頂けるようになりました。

■ 「Field Reports」の主な特長

- (1) マルチプラットフォーム/マルチ言語対応
 - Windows, Linux, Mac OS X の各プラットフォーム上で動作します。
 - Web システム開発で用いられる代表的な LL 言語 (Python, Ruby, Perl, PHP) に対応します。
 - 仮想マシン環境 (JVM, .NET Framework) 上で動作する Java, C#, VB.NET 等のプログラミング言語からも利用できます。
 - COM サーバとしても機能するので、VBScript 等からの利用も可能です (Windows 版のみ)。
 - コマンドラインプログラムを外部プロセスとして呼び出す形態での利用も可能です。
- (2) 開発効率の良い PDF テンプレートエンジン
 - Excel, Word 等の市販オフィスソフトと Adobe Acrobat 等の PDF 編集ソフトを用いて効率よく帳票設計を行うことができます。
 - 帳票のページ構成, フィールドに設定する値, スタイル指定などの情報をレンダリングパラメータと呼ぶ一種の DSL (ドメイン固有言語) で統一的に記述できます。
- (3) 精密なテキストレイアウト
 - 単行テキストでは, 「左寄せ」「中央寄せ」「右寄せ」に加えて「均等割付」の整列指定が可能です。
 - 複数行テキストでは, 組版処理システム TeX で使用されている行ぞろえやハイフネーションのアルゴリズムを実装しました。和文の「禁則処理」, 欧文の「ハイフネーション処理」を考慮した組版処理が可能です。
- (4) 高速かつスケーラブルな PDF 生成モジュール
 - 例えば明細項目と印影画像を含む見積書イメージの帳票であれば, 20 ページ/秒程度の処理速度で出力できます (Core 2 Quad 2.66GHz, メモリ 4GB)。
 - 10,000 ページの大規模 PDF を出力することも可能です (約 45 分; Core 2 Duo 1.86GHz, メモリ 8GB)。

■「Field Reports」の概要

(1) 動作環境

プラットフォーム	Windows(x86), Linux(i386, x86_64), Mac OS X(ppc, i386, x86_64)
言語 Bridge	Python, Ruby, Perl, PHP, Java(JNI), .NET Framework/COM(Windows のみ)
プログラミング言語 I/F	C, OCaml

※コマンドラインプログラムを外部プロセスとして呼び出すことも可能です。

(2) 販売価格

Field Reports for Windows**	Lite エディション	52,500 円 (税込)
	Standard エディション	126,000 円 (税込)
Field Reports for Linux**	Lite エディション	52,500 円 (税込)
	Standard エディション	126,000 円 (税込)
Field Reports for Mac OS X**	Lite エディション	52,500 円 (税込)
	Standard エディション	126,000 円 (税込)
Field Reports 保守サポート (1年間)		21,000 円 (税込)
Field Reports 技術サポート (1年間)		84,000 円 (税込)

※開発ライセンス・運用ライセンス・保守サポート費用(初年度分)すべて込みの価格です。

(3) 製品 URL

<http://www.field-works.co.jp/製品情報/>

■会社概要

会社名	合同会社フィールドワークス
代表者	梶田 健史 (かじた けんじ)
設立	2007年5月30日
資本金	300万円
所在地	〒487-0031 愛知県春日井市廻間町1102
Web サイト	http://www.field-works.co.jp/
事業内容	PDF 関連ソフトウェア製品の開発・販売 受託ソフトウェア開発

■本件に関するお問い合わせ先

合同会社フィールドワークス 担当：梶田

E-mail : info@field-works.co.jp

TEL : 050-6000-2010

FAX : 050-3488-7698